会議名称

第3回経営面にかかる検討部会

日時

令和7年1月24日（金）14時00分～16時00分

出席者

松宮部会員、中川部会員、且本部会員、塩見部会員、菅部会員（web）、永福部会員

【議事概要】

・ 報告事項

- 松宮部会長より「長浜市議会地域医療再編特別委員会資料」における長浜市副市長の報告について代読が行われた。代読内容は以下のとおりである。なお、本報告は同日行われる第7回診療体制検討部会での報告事項と同様である。
- 副市長報告（代読）「令和6年12月16日の長浜市長記者会見資料「市立2病院の経営状況を踏まえた今後の対応方針」のとおり、長浜市の財政制約から、病院事業に全面的な財政支援を行うことは難しく、数百億円の投資は、市立2病院の経営状況や市の財政状況から現実的ではない。病院再編に伴う市立2病院職員対応基本方針に係る費用の概算が約76億円である試算が確認された。病院事業の赤字がこのまま続くと、令和7～8年度には、退職給付引当金を使用してもなお資金不足に陥る状況であることを市長の記者会見で発表があったが、この約76億円の財源確保も難しい。病院経営が成り立っているという前提条件が変化する緊急事態であり、長浜市立2病院の経営再建をまずは最優先にして、必要な取り組みを行う。」

・ 人員体制の整備方針

- 指定管理者制度導入における職員処遇について、他自治体での事例を確認した。

・ 指定管理基本協定書を見据えた課題の検討

- 指定管理者制度に関する長浜市の規定を確認するとともに、これまでの診療体制検討部会や経営面にかかる検討部会での議論を踏まえ、指定管理基本協定書を策定するにあたっての留意点を確認した。また、他自治体での事例を確認した。

・ 投資計画、補助金制度等活用の検討

- 今年度は「病院事業における投資余力が見通せない状況であること」、「長浜市財政による投資支援が難しいこと」、「現時点では補助金等の活用可否が不明確であること」を確認し、当面の対応として、既存の施設設備を活用することを前提に医療機能再編を進めていく方向性について認識を共有した。

以上